

令和5年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和5年11月26日（日）10時～11時45分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民15名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等18名

市民：湖北台団地で役員をやっております。2点質問させていただきます。一つは団地に直近している中央商店会です。ここの各商店のオーナー方が組合の同意が得られないということで、照明を切ってしまったようです。市の方で急遽3灯の街路灯を昨年設置していただきました。引き続き、問題になってきたのが、アーケードの鉄骨の劣化がひどく、腐食で先日の大風で落下したという事故がありました。市の方でも多少対応はしてもらったのですが、やはり根本的に市ではどういう考えを持っているのか、オーナーの方たちと相談されたのか、その辺のお答えをいただきたい。

二つ目は、資源回収の問題で、団体への奨励金の見直しの根拠です。どうしてこういうふうな提案をされたのか。それから、私ども約2,400世帯あります。これを9キロという上限のもとで計算しますと、2万1,600kgあたりになってしまいます。かなり減額になってしまいますので、その辺をどのように考えているのか。その2点質問いたします。

環境経済部長：商店街のアーケードの件ですですが、商業観光課の方でどこまで話をしているのか、私も詳しくは把握しておりません。考えられるのは、商業観光課で商店街への補助金の制度があります。それは、撤去の部分にも使えるものであります。

ただ、2分の1の補助になりますので、残りの2分の1は商店街が負担してもらうような制度になっています。商店街として申請を出していただければ、それを受けるような形になるかと思えます。今見てもちょっと危険というか、安全という面では、安心な状態ではないので、至急検討していきたいと思えます。

もう1点の奨励金の件ですけれども、先ほど市長からご説明ありましたように、資源を出せば出すほど、奨励金の額が限りなく増加していくという今の制度を見直すことになりました。今、民間でもそういった自分たちが販売した商品、資源を、リサイクルで

きるものは回収しようという動きが出ている中で、これを民間に出せばリサイクルできるけど、市に出せば奨励金が入るということになっています。ついては、民間の回収システムも使いながら、1か月に1世帯11キロという平均が出ていますので、それを9キロまでに抑えていただきたいと思います。ご自宅で、これはもうちょっと使えるなのというのを確認しながら使ってもらおうという努力をしていただくことで、ゴミも減らせるというのが私達の思いであります。

ただ、先ほど説明したように、ゴミが多く出てしまった場合にも、回収はいたします。

市民：四季の道の東端に住む者です。今年、四季の道の東端のスロープを整備していただきました。10月の別々の日に二人の電動車椅子の方を見かけました。1人の方はスムーズに右折をして、電動車椅子で歩道に乗りあがっていきました。整備していただき感謝しております。

ところで、今年も落葉の季節となりました。去年の12月頃だったと思いますが、1丁目の方から業者の方により、落葉の清掃をしていただきました。ブロワーで吹き飛ばしたのですが、瞬間的にはきれいになるのですが、ものの数分で元の木阿弥です。これを見まして、本当に税金を効率的に使うのは難しいだろうなと思いました。

今年の5月の議会だよりを見ますと、ある市会議員の質問に対して、落葉の総量を減らすために、枝の間伐をするという回答がありました。これはもう研究するまでもなく、枝の間伐をすれば、落葉の総量は絶対減るに違いないと思います。業者に頼んで落葉の清掃をするなら、当日の気象状況とか見極めるのは大変だと思いますが、落葉の清掃をやめて、きちんと樹木の剪定時期を定めた方がよっぽど効率的で、税金を的確に使えるのではないかと思います。その辺を再度検討していただけたらと思います。

あそこに住んでおまして、これからも毎日落葉の清掃を行うとなると、だんだん疲れがたまってきます。いつまでできるか分かりませんので、検討いただければと思います。

それからもう一点ですが、11月1日付けの広報あびこの記事で、「吉羽健二郎」という方が、内閣府から千葉県で唯一受賞した、市長との笑顔の写真がありました。

その裏面を見ますと、都市計画審議会と環境審議会の委員募集の記事が載っております。その基準ですが、75歳以下と制限が加えられておりました。これは本当にいいの

かなと思いました。例えば、「吉羽健二郎」という立派な方がこれに応募してきたならば、都市計画審議会と環境審議会としては、それを断るのでしょうか？

これから、こういう高齢者が増えていく時代にあって、年齢で制限するというのは良くないのではないかと私自身は思うのですが、その辺を検討していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

建設部長：落葉の清掃ですが、四季の道ですとイチョウだと思ひます。樹木の剪定時期はだいたい決まっております、落葉広葉樹のイチョウやケヤキなどは休眠時期に剪定しないと、生育に影響が出るということで、冬に行っております。そうしますと、今ごろの時期には落葉が大量に落ちることになります。できれば、休眠期に入った早めの時期に剪定できれば良いのですが、今後検討していきたく思ひます。申し訳ありませんがご理解ください。

市長：都市計画審議会、環境審議会など、市には70くらいのいろんな審議会があります。

その中で、基本的に一般市民の公募がかなりの数であります、一般市民の公募については、概ね70歳を基本に意見を聞かせていただいております、2年間なり3年間、4年間と審議会により、それぞれの任期が違ひますが、一般市民の委員については、年齢制限を設けさせていただいております。当然、そこには専門職がいます。学識経験など。その方については、一応概ね70歳前後にしていますが、なかなか代わりがない分野の専門委員については、多少年齢は緩やかにしています。とはいっても、80歳を過ぎた審議員の方が頻りに委員会に來られないという現実もあります。やはり、任期期間中はなるべく毎回委員会に出てほしいと思ひます。例えば都市計画だったら、10年後20年後の我孫子の街を変えていきますので、きちっと責任を持って発言してもらおう。そうした前提で概ね70歳という線を引きかせていただいております。例えば、これからやろうとしている都市計画審議会でも手賀沼沿いにある旧直売所の跡地についても見直しをかけます。それは、入札が行われて、業者が決まったのですが、このコロナの影響を受けて資材が上がるし、飲食店は大きな打撃を受けて、やっぱり撤退をするということになりました。

そのため、もう少し緩やかないろんな業種が出店できるように、今見直しをかけています。見直しをかけながら計画を変更してしまうと、これから50年60年後の我孫子に

も影響を及ぼしますし、その周辺に住んでいる方にも影響を及ぼしますので、その部分を決める時に、80歳以上の方がそのエリアを決めて、責任を持って50年後60年後の見通しの上で発言していただけるかということ踏まえると、私は一般公募の市民には、なるべく若い人が入って、自分の意見を伝えるべきだと思います。当然、専門家の皆さんは60歳を過ぎている方が圧倒的多数ですので、その年齢のバランスからすると全部が全部若い方が決めるのではなく、一般市民枠を年齢制限していると理解してください。実際には、例えば農業だとか専門家になると、皆さん80歳前後の方もいらっしゃいます。ですから、分野によっていろんな年代に分けたいというのが、基本的な考えにあります。一般公募の方については、なるべく若い方が出やすいように年齢を制限していると理解してください。全体が高齢者を排除しているわけではないと、理解していただければと思います。

市民：湖北台団地自治会の役員をしています。私どもの西の集会所の下に自治会として市街化調整区域を借りて40～50年近く、駐車場管理をしています。実はその隣の一部の民間の駐車場ですけど、いきなり半年前にトラック2～3台で建設資材を持ち込んで、何をやっているのか、分別してまた持ち帰って、また持ち込んでいる。普通の駐車場で、仕切られてもいない。シートもかけていない。周りにゴミが飛んでいってしまいます。

こういったことを、見逃していたのでは、これからますますひどくなると思うのです。持ち込んだ後がまたひどいのです。駐車場1面廃材だらけです。それを強く業者に指導してもらいたい。

それからもう一点は、要支援1から65歳までの朝のゴミ出しの問題ですが、相談を受けたのですが、「なんでも相談室」にも言っていると思うのですが、要支援の方が良くなるってことはないと思うので、本人が断らない限り、継続して行っていただきたいと思います。それから最後にもう一つは、我孫子市では、例えば、国の基準、民間会社、あるいは公的関係の会社、こういったところで障害者を採用するにあたって、国の基準は守られているでしょうか。その辺のところをお伺いしたい。

環境経済部長：今日は担当が来ておりますので、担当からお話しします。

生活衛生課長：湖北台団地の下側の都部の地区ですね。建築廃材のようなものが堆積されているところは、私達も承知しております。これは、いわゆる産業廃棄物の不法投棄ということで、産廃の指導権限を持つ千葉県に報告しております。千葉県が持ち込んだ事業者接触到、直ちに撤去するように指導はしています。我々も何度か現場に立ち会って、作業している外国籍の方に話をしており、そのときは、撤去作業をしているというような説明を受けました。警察も現場に立ち会っていることを確認しています。私も市も含めて、指導権限のある千葉県も承知しておりますので、また何か状況が変わるようなことがありましたら、引き続き千葉県に報告をしながら、指導していただくように連携してまいります。

環境経済部長：ふれあい収集の件で、毎年更新するという部分は必要ないのではという質問ですね。

市 民：本人がもういいですと言わない限りは継続してほしいのです。

生活衛生課長：ふれあい収集は、例えば、要支援の判定をいただいている方が特に足腰に問題がなくて歩けるけれども、たまたま怪我をしてしまった、骨折してしまったとか、そういう事情で認めているような方もいらっしゃいます。そういった方はある程度の期間を置いた中で再面談をしています。その際に、引き続き支援が必要だということであれば、当然対象者として継続させていただくということになります。

廃止することを目的に期間を決めているという訳ではなく、必要な方にはこの事業を利用していただく方向性で行っておりますので、ご承知いただければと思います。

企画総務部長：障害者の雇用ということですが、法定雇用率というものがあまして、今は2.6%と決まっております。市の方でも、障害者枠で採用を行っておりまして、一定の人数の障害者の方が働いていらっしゃいます。今のところは、法定雇用率が守れている状態です。今後も、職員全体の数が変わったり、障害者の方で辞められる方もいらっしゃるのでは、障害者雇用の促進に向け、法定雇用率を守れるように努めていきたいと考え

ております。

市 民：湖北台に住む者です。二つほどお願いしたいのですが、中央公園を活用して我孫子の和太鼓まつりを実施しているのですが、その際に中央公園の入口、市民センター側から入るわけです。そのケヤキの根っこがすごく張っていて、でこぼこが激しいのです。子供たちが自転車で出入りしているのですが、転ぶ危険性もあるし、和太鼓祭りに必要な資材の運搬等でも、トラックが大きくバウンドしてしまいます。根っこの撤去をお願いできればということです。

それと、団地側から8号公園に向かって行くと、湖北駅から十字路にぶつかるのです。

その手前に公園のイチョウの木があります。そこに一時停止の標識があるのですが、その標識が全然見えないのです。その標識を曲げて見えるようにするか、あるいはイチョウの木を何とか対処するか。例えば、ユニデイの裏の道に非常に生い茂った樹があるのです。私も気になっていたのですが、それがユニデイさんの方で自主的に伐採して標識が見えるようにしている。そういう箇所が結構あるのではないかと思うのです。その辺の安全面での点検とかを実施し、解消する必要があるかどうかを市の方で検討していただければありがたいと思います。以上2点ですがよろしくお願いします。

都市部長：中央公園の入口からの園路については、状況を見まして検討いたします。また、中央公園のバリアフリーということも、今検討課題に挙がっていますので、今後全体を見ながら整備していきたいと考えています。

建設部長：標識が見えないということですが、イチョウの剪定については、今年行う予定でいます。担当の道路課も来ております。場所を教えていただき、その部分は早急に行いたいと思います。また、ご発言があった所もたくさんあるのかもしれませんが。我々職員も現場の方に行きますが、気がつかないことも当然あります。全てを網羅することは中々難しいので、お気づきのことがありましたら、市の道路課にお電話いただければありがたいです。よろしくお願いします。

市 長：私自身も土、日に公務で市内を回っている時に、信号の直前まで行かないと赤か

青か見えなかったこともあります。枝の伸びは結構早いので、職員が切った時には問題なくても、3ヶ月ほど経ちましたら、隠れてしまうことがあります。道路は、市内の部分だけで500キロ超えています。だから、市の職員だけで全部をチェックすることが現実的には不可能です。皆さんお気づきのことがあった時に、ぜひ道路課の方に情報提供していただけるとありがたいです。

市民：中里通りですが、スーパーマスタから湖北小学校まで行く間で、排水管か何かの工事をしていました。それで、埋めたまではいいのですが、そのままです。通学路ですので、道路を平らにはしていただけないでしょうか。

建設部長：下水道の工事だと思いますので、担当者がお答えします。

下水道課長：湖北駅北口の東側ですが、今おっしゃいました路線を下水道整備しています。今年穴を掘って管を埋めました。そして、今仮復旧のままです。その後、工事箇所の復旧の養生をする期間を設けさせていただいて、本復旧という形になります。なので、具体的には来年ですね。ただ、現状で養生をしている中で不都合等があれば、個別におっしゃっていただければ、私どもの方で調査をして、対応させていただきますので、よろしく願います。担当の方にもその旨お話があった点について、もう一度点検するようにいたします。ただ、どこの部分がどういう影響になっているのかというところまでは、いろいろ感じ方もあるかもしれません。

一旦点検をさせていただきますが、下水道工事に関しては、間違いなくその道路を掘削させていただきましたので、それで支障があるかどうかを点検させていただきます。

繰り返しになりますけれども、綺麗に舗装するのは少し養生をさしていただいた後になりますので、具体的には来年早々となります。

市民：これは民間の問題です。民間の植栽、ドウダンツツジですが、生い茂って道路の方に50センチもかぶってきています。同じ町内ということもありますし、こういうものを例えば我々が注意していいのか。市の方でそういう指導をしていただけるのでしょうか？

建設部長：道路にとび出て通行に支障となっていてますと、市の方で所有者の方を調べて、その方に切っただけようお話させていただきます。後で場所を教えていただければ、職員の方で対応いたします。

市 民：先ほど説明のありました行政サービスセンターの移転についてです。そこに駐車場か何か考えておられるのか。中央公園にしても何かイベントやる時に車を停めるところがないので、困ってしまいます。例えば隣の湖北台幼稚園とか、あの辺の駐車場を借りられないかとか考えはあるのでしょうか。他の公園とか施設を見ても、基本的に車で行くようになっていません。

例えば、ここもそうです。駐車場はあるのですが、ちょっと遠いところにあって、私みたいに高齢になると、注意して運転しなければなりません。雨が降ったらどうするか、車で行きたいけど停める所がないということになります。ちょっとした集まりなり、あるいは行政サービスみたいな、一応管理の中で、安全に車で移動できるような状態を作っていかなければならないと思います。車社会でもあります。それと例えば駐車場の件だと、我孫子の駅前だとか湖北の駅前には駐車施設ありません。車も停められないから、人の迎えはいけません。一般的には、そういうことも考えないと車と電車との絡みだとかということも将来的に考えていくべきだと思います。いろいろ言いましたけども、要は行政サービスセンターの移転に伴う駐車場の管理とか、設置の関係ですね。車社会というのは無視できません。もちろん、高齢になった運転の問題もいろいろあります。

ぜひ、そういうスペースを意識しながら、設備を整備・管理していくようにしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

市 長：保健センターも乳幼児健診の時は、結構皆さん車で来ますから、駐車場が一杯になってしまいます。元伊勢角の所が駐車場になりまして、保健センターがそこと契約して、いわゆる無料駐車券の形をとっています。同じように行政サービスセンターも、通常保健センターの駐車場が空いてれば、保健センターを使っただけで、混んでいて入れなかった場合は、そちらの元伊勢角の所の駐車場を使っただけでいます。行政サービスセンターも同じように駐車場が使えるようにしようと予定しています。改修工事が終わるまでその方向で調整をしています。

地区社協の方も、これからゆっくりと候補地の中で決定をしていきますが、保健センターと同じような対応ができるよう、お話をさせていただいて、最終的に場所を決めさせていただきたいということをお伝えしました。

そうしますと、消防が8年度に引っ越しが終わると、あの場所が空いてしまうので、空いたスペースをどうするか。今のところ、跡地の活用が決まるまでの間は、駐車場にするつもりでいます。いろんな方向性を議論ができればと思います。その前に今のサービセンターと地区社協と市民センター、あと消防署と一緒に全部更地にするという前提になりますから、そこも含めて意見交換をさせてもらえればと思います。

市民：湖北台団地に住んでおります。初めてこういう場に参加させていただいております。私も市川のほうから4~5年前こちらの方に移りまして、環境がいいと思い、気に入っています。まちづくりの資源が豊富な所だと思います。

そういう中で資料を見ますと、移住定住といったものを高める戦略的なプロモーションを掲げていらっしゃる。「誰もが健康で自分らしくともに暮らせる」、全くその通りだと、そうあってほしいと思います。それと快適で住み続けたいまちづくり。

例えば鳥類研究所がありますが、あの建物もいい立地にありますね。あの建物にイルミネーションでもして、イメージアップしたらいいじゃないかなと思うわけです。それと、手賀沼ですね。あそこを通るたびにイメージするのは水ですね。ヨットとかカヌーなどのウォータースポーツに利用したらいいのではないのでしょうか。日本の場合は、川とか水の利用についての管理は厳しいです。よその国では、水辺から考えるのですね。ところが日本の場合、寂しいですね。規制との関係もありますが、せつかく手賀沼のあれだけのものがあるながらもったいないと思います。そういった中で我孫子に住んでよかったなど。文学の香りもありますし。そういうイメージアップを戦略的なシティプロモーションとして、なにか大きくそういうものが作れないかなといつも思っています。

もう一つ、一方で高齢者が増えているわけです。中央公園に行くと立派な野球場があります。日中散歩に行く時に見ると、必ずしも稼働率が高くないです。そこで、自分らしくいつでもどこでも利用できるスポーツ施設づくりがこれから必要になるかなと思います。

市長：水の館はご存知でしょうか。手賀大橋からくると真っ先に見える建物です。あれは元千葉県の建物だったのですが、今は市の建物になっております。30年近く経っているものですから、改修費用もいただいて、改修したところに直売所と農家レストランを設置しています。その裏手に鳥の博物館があって、その奥に山階鳥類研究所があるという状況です。山階の所長からも時々あの周辺の魅力向上についてはアドバイスをいただいています。水の館をライトアップしたり、プロジェクションマッピングはどうかと。ただ、今のコロナの中で、よそからどうぞいらっしゃいというのは非常にやりづらかった3年間でした。やっとコロナが開けて、今年は4年ぶりで手賀沼花火大会も実施できましたし、エコマラソンも今回は8,500人ほどでしたが、多くの方が参加してくれました。知事もちょっと走って見たら自己ベスト更新できたと喜んでいました。手賀沼については、ヨットやボート、カヌーなど、春から秋にかけて行っております。アルバトロスヨットクラブという、昔ヨットをやっていた方とかヨットの好きな方たちが手賀沼でヨットをやっている、ジャパンボードフェスティバルの時には、高齢者から子供たち、障害を持った人たちにも、ヨットに乗れるようにボランティアでご協力をいただいて、ボートやヨット、カヌーなどを手賀沼に浮かべている状況です。この時期になると寒いので、水辺にはほとんど人が集まりにくくなります。手賀沼は水質も良くなったものから、これまでのように全面的に押し出していきたいのですが、さっき言ったように、コロナで3年ほどやりづらかったという状況です。ただ、広報でお知らせしたように、今市内のあちらこちらで、映画やドラマの撮影場所として使っているのですけれども、やっぱり手賀沼が一望できる場所は非常に人気がありまして、多く使われているような状況です。これから、本格的にシティプロモーションの方は強化していけるかなと思っています。

我孫子に越してきてもらうためには、その可能性の高いエリアとして、東京や埼玉、茨城、この辺を中心にしながら、宣伝をしていきたい。東京に住んでいる方は、やっぱり東の千葉に行くか、西の神奈川を選ぶか、北の埼玉に行くかという中で、我孫子の地価が安くて、それでいて東京までの距離が近く時間的にはほとんど変わらない。あるいは千葉の方が近いということを知ってもらうようなPRがどうしても必要なのです。そこを中心に戦略を練っていききたいなと思っています。手賀沼周辺には、嘉納治五郎師範も我孫子に別荘を構え心を癒しながら、平日は講道館に行ったり、東京高等師範学校で教鞭を

取られていましたから、それにつられるようにして、白樺派の文人たちが別荘を構えて、作家活動していたということを踏まえると、我孫子と手賀沼の関係というか、人間の生活と水辺空間っていうのは切っても切れないものだと思っています。この関係はきちんと我孫子のコンセプトとして、人と自然の共生、鳥が住みやすい空間は、人間にとっても住みやすい住空間だということをこれからも我孫子市の中心に置いていきたいというふうに思います。ただ、手賀沼は戦前までは毎年のように洪水を起こす治水の歴史があるものですから、千葉県の方でもおいそれとは沼の形状を変えさせません。手賀沼の方は千葉県の管轄です。湖北から先は手賀沼を埋め立てて川になりますが、手賀川については国交省の管轄です。水辺の中というのは、市では勝手に手を加えることは出来ないのです。ここをいかに国、あるいは対岸の柏市と協議を進めるかということが大事になります。栈橋 1 本新しく変えることも困難です。治水計画に影響がありますので、そこについてはこれからも県と一緒に取り組みを進めていきたいと考えております。スポーツについては、いろんな競技がある中で我孫子の子供たちは陸上がすごく強いです。東葛で駅伝に勝つと、大体千葉県のトップになります。千葉県でトップになれるということは、全国の上位になります。そのくらい我孫子を含めたこの東葛地域が強いのも小学生の頃から走り込みをしているからで、今説明したように五本松運動広場をサッカー場兼ラグビー場にしたいと考えています。ご存知のようにグリーンロケッツもありますので。一番多いのはサッカーで次が野球かと思います。次が陸上で、競技人口はかなりいると思います。今、サッカー場とラグビー場の計画を進めていくと、陸上競技を行っている人たちからも強い声が出ています。多分 400mトラックをとれるのは市内で五本松公園しかないということで、サッカー場の周りに陸上競技ができる所が欲しいという声が上がってきています。それを踏まえながら、今年度中にいろいろすり合わせをさせていただいて、来年から動き出せるように、協議を進めているところです。また、我孫子の子供たちは軟式テニスも強く、全国大会に出られるような小学生や中学生を輩出しています。それも含めると、一生懸命何かに取り組んでいる子供たちがいれば、それは全部応援してあげたい。私も気持ちは同じですが、残念ながら予算の都合上、順番を決めていくしかないというのが現実であります。

この前、体育館のテニスコートの方は、人工芝に張り替えさせていただきました。これからも我孫子で子供たちが自分の夢や目標をもって大きく育ってもらって、いずれ日

本で活躍するような人が出てくれるように期待したいと思っています。

今年是我孫子第一小学校と布佐小学校が150周年を迎えました。年明けには湖北小学校が150年を迎えますが、昔から我孫子の人たちは子供たちの教育に熱心だったということを証明できるような取り組みも強化していきたいと考えています。ご理解をいただければと思います。

市 民：消防署ができるということで喜んでいますが、湖北台2丁目あたりに住んでいるのですけれど、高齢化が進んでおまして、バス停までも歩いていけないという方がおります。でも買い物はしたいということなので、「カスミ」さんがいろんなところ出張していると聞いているのですが、希望したら例えば公園の近くとか自治会の近くとかに来ていただくことは可能なのでしょうか。

市 長：「カスミ」さんに移動販売車をご協力いただいて、市内あちらこちらに行っています。当然、「カスミ」さんもボランティアではないので、そこに行ったら、ある程度人が集まるというのを前提にさせていただきます。やはり、お一人だけ要望したからといって、そこに行くわけではありません。当然、その周辺であれば2丁目あるいは1丁目と一緒に、自治会からの要望として来ていただく。例えば、さっき言った消防署の南側に移動図書館が来ますから、移動図書館が来ない曜日には、移動スーパーを呼ぼうとか。そういう提案はできると思います。基本的に移動スーパーが来たときに、交通の妨げにならないようにしなければなりません。そのため、中に入った駐車場のスペースと、販売するスペースを確保できる場所というのが条件になってきます。当然やってみただけで、結局誰も来ない、ほとんど来ないとなれば、場所は変わります。これは、半年後ぐらいで見直していますので、一つの要望ではなくて、周辺も含めてかなりの要望があるなというのがわかれば、情報をいただければ、高齢者支援課の方と「カスミ」さんとで定期的に打ち合わせをしながら、移動販売の場所の見直しを続けていますので、そういう形をご利用いただけるのではないかと思います。

また、個人的にお願いして1軒のためというのは、「とくし丸」さんというのがあるって、ここは1軒でも要望した方に配達してくれるそうです。ただ、ここはその商品の料金に上乗せがありますが、家の前まで運んでくださいます。確か、セブンイレブンでも同

じょうなサービスがあると思いますので、そういうのを利用される方がよろしいかと思
います。集団の場合は、高齢者支援課あるいは秘書広報課でも構いませんので、ご連絡い
ただければと思います。